

今回は、安価に050IP電話を全国のウィルコムサービスエリアで使える企業向けモバイルIP電話サービス「.Phoneユビキタス」について、実際に導入いただいているJA安芸様に、導入の経緯や導入後のご感想などをお聞きしました。

本店支店間や社員間通話の完全定額を実現するサービスでコスト削減!

「.Phoneユビキタス」の提案を受けるに至った経緯をお聞かせください。

永山 以前、渉外担当者は外出先で個人の携帯電話を使っていました。そこで個人情報保護などの点から、2008年3月のPBX(電話交換機)更新の際に先行して本店にPHSを導入したのですが、渉外担当者の営業エリアの一部で電波状況が良くないエリアがありました。また、内線収容したことでも外線と内線利用の2通りを使い分けなくてはいけない点も気になり、契約満了時期を控えてより良いものを検討し始めたのです。

浅原 実は最初に検討していたのは携帯電話で、2009年1月から各キャリア様と協議を始めていました。しかし、2009年9月にPHS事業者様から「.Phoneユビキタス」のご提案があり、各キャリア様のサービスと比較しながら検討をしました。

して利用しています。「持ち出せる内線電話機」という感覚です。

手島 いろいろな使い方がありますが、本店のPHSは内線収容していますので0発信をしてPBX経由で発信し、事業所のPHSはPBXに収容せず外線専用として利用しています。本店で0発信した場合は、内線収容されているので相手にはPHSの電話番号ではなく各部署の電話番号が表示され、事業所内の電話からかけたようになります。

——導入後のご感想をお聞かせください。

手島 業務では本店と支店間でのやりとりが多いため、追加導入後のコスト削減を大いに期待しています。通話状況を心配していましたが、基本的に外出先の間でも通じます。

浅原 本店では内線収容しているので



永山洋介様
JA安芸 代表理事 組合長



浅原正博様
JA安芸 リスク管理部 係長



手島孝弘様
JA安芸 総務部総務課 庶務係長

——提案を受けて率直にどう思われましたか?

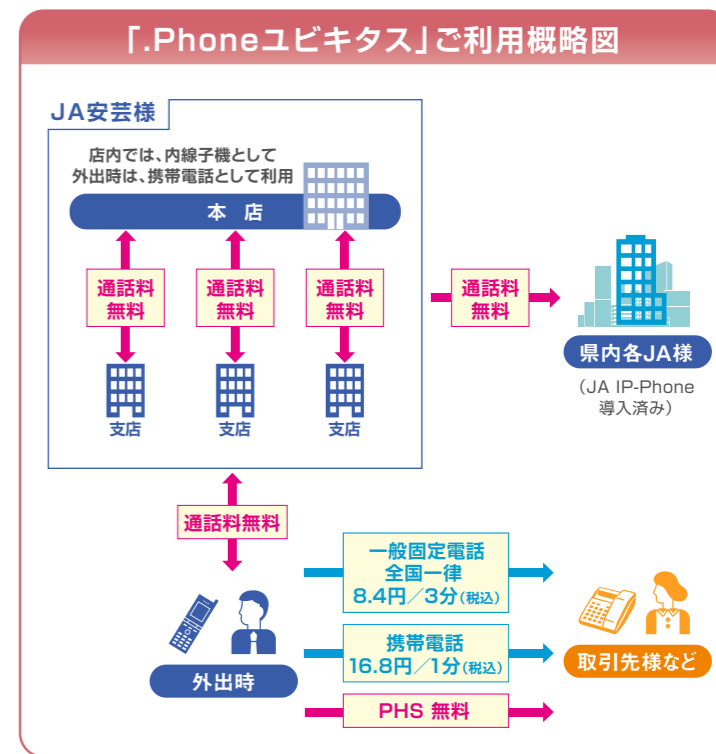
永山 導入予定台数が多いことや通話料の問題から、携帯電話は実質的に難しいと考えました。既にPHSを導入し、アンテナを建物内に設置し内線収容していましたので、これなら実現性が高いと感じたのです。

浅原 JA安芸では2008年9月、NTT西日本様とJA広島情報センターの提携により実現した、JAグループ広島に特化したIP電話サービス「JA IP-Phone」を県内で初めて導入していました。

PBXからの発信となります。0発信させることで、PBXのLCR機能によりアナログ回線とIP回線で通話料の安価な回線を自動選択しますので、何ら違和感なく使えています。

万が一紛失や盗難にあった場合、利用停止やアドレス帳にリモートでロックをかけることもできるのでセキュリティ面でも安心です。

永山 今後は県内全JAへの展開が図れたらと考えています。「.Phoneユビキタス」は我々のように複数拠点のある会社にとってコスト削減を図れるサービスです。JAは山間部などにも広く展開していただけますので、今後エリアを拡充していただけたらと思います。



「JA IP-Phone」はNTTコミュニケーションズ様の無料通話先050IP電話サービスのため「.Phoneユビキタス」の通話料が無料になります。他のキャリア様の場合は新たにそのキャリア様の電話回線をひかないと通話料の割引を受けられないのですが、唯「.Phoneユビキタス」だけは今の設備のまま単体で導入しても、拠点間や拠点と外出先の渉外担当者の通話料が無料になるというお話が魅力的でした。

——「.Phoneユビキタス」を導入した理由は何ですか?

【団体名】 安芸農業協同組合(JA安芸)様
 【本店所在地】 広島県安芸郡海田町窪町8-8
 【管内エリア】 広島市安芸区・安芸郡海田町・熊野町・坂町・呉市押込町
 【事業概要】 組合員の営農と生活をサポートするために、信用事業・共済事業・購買事業・営農指導事業などを始めとした、各種事業を展開
 【URL】 <http://www.ja-aki.jp/>

